

連体修飾節における丁寧形と非丁寧形について

嶺田明美

1. はじめに

丁寧語を用いた文体の従属節内で接続助詞に接続する文は、その接続助詞によって丁寧形と非丁寧形の使用頻度が異なる。たとえば、現代語においては接続助詞ガ・ケレドモに接続する場合は、約95%が丁寧形であるが、タラは約9%、ノニは0.2%程度である(嶺田2019)。

それでは、連体修飾節においては、丁寧形はどれぐらい用いられるであろうか。

連体修飾節とは、「机に置いてある本」の場合、「本」を修飾する「机に置いてある」が連体修飾節である。連体修飾節は一般には丁寧形をとらないが、近年は例1「降りましたホーム」のように、連体修飾節に丁寧形が用いられる場面が増えているように感じられる。

例1) 急行ご利用のお客様は降りましたホーム、向かい側に参ります電車¹にお乗り換え下さい。(京王電鉄車内アナウンス筆者採取2018.9)

本稿では、どのような文体の中で、連体修飾節に丁寧形が現れるか、また、どのような被修飾体言があるかについて、国立国語研究所構築のコーパスを用いて調査した結果を述べる。

2. 明治期の文体と丁寧形

三尾(1942)は、昭和初期の話言葉について、連体修飾節の丁寧形が現れる文体は、丁寧形文がほとんどであると、次のように述べている。

連体部においては、體言の上に立つ用言は、「ございます體」文のなかで、はじめて「です體」形になるものです。「だ體」文と「です體」文の連体部では、ほとんどつねに「だ體」形が用ひられます。尤も、「です體」文でも、連体部の用言が「です體」形になることはときどきあります。(中略)しかし全般的にいつて、連体部の「です體」形は「ございます體」において用ひられる、といつてよいでせう。

では、これより前の時代の明治期はどうであつただろうか。

2-1. 調査方法

明治期について、『日本語歴史コーパス(CHJ)』の「明治・大正-雑誌²(コア・非コアともに対象)」を使って調査した。口語文体を対象に、キーを「名詞」、前文脈の語彙素読みを「デス」「マス」、前後の語数100で検索し、得られたデータからキーの「名詞」に連体修飾している文を抽出した。

1 謙譲語B「参る」と共起するため、聞き手配慮の意識から非丁寧形は用いにくい。

2 使った雑誌は次の通りである。『明六雑誌』(1874~1875)、『東洋学芸雑誌』(1881~1882)、『国民之友』(1887~1888)、『女学雑誌』(1894~1895)、『太陽』(1895, 1901, 1909, 1917, 1925)、『女学世界』(1909)

2-2. 調査結果

おおむね、連体部は、丁重体の文章の中では丁寧形、丁寧形体の文章の中では非丁寧形が使われている。

例2は、登場人物「お高」が「小池」と対話している場面である。お高のセリフでは、①「何ですか」のように、デスも用いられ、丁重形文で統一されているわけではない。しかし、全体には丁重形文を用いており、体言に接続する場合も、②「頂きます理由が」のように、丁寧形+体言の形を用いている。接続助詞に接続する場合も、③「△いけませんから」・④「折角で△いますから」のようにゴザイマスを用いており、全体的に従属節内でも丁寧形（丁重形）を用いている。一方、対話相手は、全体に丁寧形文を用い、体言に接続する場合は、⑦「取寄たの」・⑧「持つて来たもの」のように非丁寧形+体言の形を用いている。

例2) 小池「昨日は飛んだ御厄介になりました—これは不躰物ですが、東京から取寄たのがありましたから、御裾分します。」

お高「あの、何ですか存知ませんが、恚ういふことをなすつて頂きましたは……」

小池「いや、なアに—そんなお禮を仰有る程のものぢやありませんよ。」

お高「でも頂きます理由が△いけませんから、あの、これは」と、心持前へ押しやる。

小池「いやア、それぢや却つて恐縮します。折角持つて来たものですから、どうぞお納め下さい。」

お高「左様で△いますか……」と、躊躇ひ躊躇ひ、でも餘り恐入りますが、折角で△いますから、頂戴いたします。」

柴田流星「實印と預金帳」『太陽』博文館 1909

コーパス検索結果の全体では、「丁寧形+体言」を含む文章は285件あった。このうち、文章全体に、助動詞デス・デゴザイマスがなく、助動詞マス・マスルしか現れない文は105件であった。これを除いた180件のうち、丁寧形だけが使われた文章は49件、一方、丁重形は98件、丁寧形と丁重形の両方が現れた文章（混淆文章とよぶことにする）が33件で、丁重形文章と混淆文章の合計は131件である。

丁寧形文の49件の用例の雑誌毎の作品の延べ数と異なり数は、それぞれ次のとおりであるが、合計すると異なりの作品数は32、作者数は31人である。

『明六雑誌』（1894年）1件

『女学雑誌』（1894年）延べ3件

『女学雑誌』は3件とも「悲劇魂迷月中刃一名、桂吾良」（岩野泡鳴）で、岩野の文体ともいえる。

『女学世界』（1909年）延べ27件

『女学世界』の作品の異なり数は16件、作者の異なり数は16人である。このうちの「私の豪奢生活」は岩野泡鳴作である。

『太陽』（1895年2、1901年7、1909年2、1925年8）合計19

『太陽』の作品の異なり数は14件、作者の異なり数は14人である。

一方、丁重形文章と混淆文章の異なりの作品数は64、作者63で、丁寧形文章の作品・作者の約2倍あった。また、この調査では検索の語数を前後100としたため、偶然、丁重形が現れず、丁寧形文になることもある。たとえば、次の稲花作「長崎料理十二月」で、例3は「致すのです」「別段です」のようにデス体文だけが現れているが、同じ作者・作品の、例4では「御盛な事で御座います」のようにゴザイマス形も現れている。

例3) <前文脈> 好く煮込みます。結局味が甘くして少し鹽氣のある加減に致すのです。煮上ったら、河豚の肉丈鉢に取分け、其後で大根を七分位の厚さに丸切にして湯煮たのを其汁で煮て、干河豚の煮たのを、皿に取った時、其側に添え 此料理は大晦日の晩には、何處の家でも、舊家では屹度拵へますもの <ここから後文脈> で、其味は又別段ですが、若し干河豚のない場合には、棒鱈を使ひます。尚何の家でも拵へますものは、芥子壺で、是は火除の呪で、是非是非しなければならぬものと致してをります。火除呪の芥子壺此習慣は一向譯が解りませんが今日に至るまで行はれてゐますもので、先芥子を搔きまして、白味噌に（稲花「長崎料理十二月」『女学世界』1909）

例4) 家の内に平和な生活を送り、福德圓滿を招きます原因 <ここから後文脈> の一ともなうかと思はれます。此頃は料理の御稽古が大流行になりまして、何處の女學校でも此課目を加へられ、その上彼處にも此處にも、やれ講習會だの、やれ研究會だのと、それはそれは御盛な事で御座います。（稲花「長崎料理十二月」『女学世界』1909）

以上を踏まえると、明治期は口語体の丁重形文章のなかで、丁寧形の連体修飾がおきやすかったといえる。この傾向が、三尾の述べるとおり昭和初期も続いていたということである。

3. 現代語の文体と被修飾体言

現代語の丁寧形の連体修飾は、どのような文体で起き、どのような被修飾体言に起きているのかを調査した（調査Aとよぶ）。

3-1. 調査方法

『現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）』を用い、コア・非コアともに対象にした。特定目的（白書・法律・国会会議録・韻文・教科書）を除き、さらに1920年代以前の著者（外国作品の場合は翻訳者が1920年代以前の場合は対象外、著者の生年代が不明の場合は対象）、古典文学作品の現代語訳は対象外とした。前方共起条件を語彙素読み「デス」「マス」に、キーを「品詞の大分類を名詞」にし、検索した。後文脈の条件はつけていない。

得られたデータのうち、倒置文（例5）は、連体修飾節ではなく文末とみて除外した。また、文末詞的な用法（例6）も除いた。

例5) 飲み薬を処方されました一か月分（Yahoo! ブログ 2008）＝一か月分、飲み薬を処方されました

例6) 「素敵ですこと。わたしはそのどちらにも行ったことはありません」テレーズが声をあげる（帚木蓬生『薔薇窓』新潮社 2001）

表記の種類（たとえば、こと・事・コト）や旧字体・新字体は区別していない。

コーパスによる検索では、被修飾語が連体修飾節の直後に位置する例だけが集まるわけではない。例7のような場合は、「撮影しました」が修飾するのは「ヘールポップ彗星」と考えた。

例7) さて、私が積丹半島で撮影しました 1997年に飛来したヘールポップ彗星です (Yahoo! 知恵袋 2005)

以上のような調査の結果、1009件の連体修飾節に丁寧形・丁寧形を用いた文が得られた。

3-2. 現代語の文体と丁寧形

「2. 明治期の文体と丁寧形」で、昭和初期まではゴザイマス体文で丁寧形の連体修飾が起きやすいと述べたが、現代語の書きことばでは、ゴザイマス体文自体がどれくらい現れるか。

コーパス検索結果 1009件のうちゴザイマス形を含む文は 155件あったが、そのうちの 46件は定型文（ありがとうございます、申し訳ございません、おはようございます、など）であった。動詞のゴザル（ここにございます、など）は 17件、助動詞は 92件であった。レジストリを見ると、例8のように、時代小説やファンタジー、外国作品の翻訳など現代日本を舞台としない小説等が、動詞 17件のうち 8件、助動詞 92件のうち 58件あり、役割語的に登場人物に使わせている可能性がある。

例8) 「まさかでございますよ、旦那さま。長七どんに、そんな悪い連中の知り合いが、おりますはずはございません」大番頭の権三郎があわてて、長七を弁護する役目を買って出た。(笹沢左保『八丁堀・お助け同心秘聞』祥伝社 1996)

155件から定型文 46件と役割語的な 66件を除くと 43件 (43/1009÷4%) で、現代では、ゴザイマス体の文自体があまり現れず、丁寧体文中で連体部の用言が丁寧形で現れるといえる。

3-3. 被修飾体言の種類

被修飾体言の種類は次のとおりである。

3-3-1. 名詞

(1) 一般名詞: 233件

一般名詞が一番多く、延べ 233件あった。さまざまな語があるが、その中で複数あったのは、「商品」6件、「日」5件、「内容」3件、「資料」2件の 4語であった。「商品」「内容」「資料」は、例9のように、企業などが顧客等にあてたものを指しており、その顧客は同時に聞き手（読み手）であるため、対者敬語³として丁寧な表現になりやすい。また、「日」5件はすべて Yahoo! ブログの例で、文もすべて「お会いできます日」であった。

例9) bofi でご注文（ご予約）いただきました商品のお支払方法につきまして、多数お問い合わせをいただいておりますので (Yahoo! ブログ 2008)

3 ここでは菊地 (1997) を参考に、敬語の捉え方として、尊敬語・謙譲語を「素材敬語」、丁寧語を「対者敬語」とよぶことにする。

一般名詞 233 件のうち、丁寧形の直前に敬語⁴が用いられた例が 92 件あった。そのうち 87 件は謙讓表現であった。敬語の使用例の内訳は次の通りである。

尊敬表現 5 件

～(ら)れる 3 件 ～てくださる 1 件 なさる 1 件

謙讓表現 87 件

A〈補語を高める〉35 件

～ていただく・お～いただく 14 件 お～する 6 件 お～できる 5 件 お～いたす 4 件

申し上げる 3 件 たまわる 1 件 頂戴する 1 件 申しつかる 1 件

B〈聞き手配慮〉52 件

おる・～ておる 34 件 いたす 9 件 まいる・～てまいる 5 件 ござる・～てござる 2 件

申す 2 件

謙讓語の誤用が見られ、特にテイタダクは補語を高める働きよりも聞き手配慮のように使われる場合もあったが、ここでは謙讓語 A に含めた。謙讓語 B は、聞き手配慮の観点から丁寧体と共起しやすいといえる。

(2) 人物・特定の団体など：209 件

一般名詞以外で多いのが、人物⁵や特定の団体を修飾する場合で、209 件あった。209 件のうち、110 件が直前に敬語⁶が共起している例であった。例 10・例 11 は、被修飾体言にあたる人物などを相対的に高めるような場合に使用されている。また、例 12 は自己紹介文で、謙讓的な表現がされている。

例 10) 「霊代・田城綾子氏と、跡目を相続なさいます竹上正久氏の間で盃を交わします」津坂媒酌人の口上がつづいた。(大下英治『修羅の群れ 首領篇』徳間書店 1984)

例 11) 病院へ行くのをやめて、常にお世話になっています近所の医院に血液検査をお願いしています(石原結實『体を温める』と病気は必ず治る』三笠書房 2003)

例 12) (私は)デザイン会社への就職を考えております者です。(Yahoo! 知恵袋 2005)

次のように、敬語と共起しない例も 99 件あった。例 13～例 16 は紹介文である。例 13 は神にまつわる島の紹介、例 14・例 15 は他者の紹介、例 16 は自己紹介である。

三尾(1942)は、「體言に附く『です體』助動詞(本稿の丁寧形のこと)は、吸着語には附きますが、ふつうの名詞へはつづくことのないもの」であるとしている。現代は普通名詞にも接続するようになってきている。文法的には丁寧体は対者敬語である。丁寧体と敬語の共起が、一般名詞は $92/233 \div 40\%$ であるのに対し、人物・特定の団体等は $110/209 \div 53\%$ ($\chi^2(1)=7.153, p<.01$ で有意差あり)で、人物・特定の団体のほうが敬語の使用率が高い。丁寧体を用いることで話し手(書き手)に、聞き手(読み手)への配慮と共に被修飾語にあたる人物等(例 13～15)が高まるような感覚が生じ、

4 敬語の誤用については考えず、文中で尊敬・謙讓のどちらで用いられたかだけを見ることにした。

5 「もの」は、人物(者)を指す場合と、ものごとを指す場合があるが、人物を指す場合はここに含み、ものごとの場合は、下記の「(7)もの」に含めた。

6 敬語の誤用もあるが、ここではその誤用については問わず、敬語が使用されたとして考えた。

また自己紹介では主体が低まるような感覚が生じているのではないか。素材敬語として機能させている意識があるのかどうかについては、意識調査をした上で、あらためて論じたい。

例 13) そして毎日どこかの寺院にて祭事が行われています神秘の島なのです。バリ島ではお祭りのごとに
沢山のお供え物が (Yahoo! ブログ 2008)

例 14) それでは、新会長に選ばれました稲沢さんに、就任のごあいさつをお願いいたしましょう。(榎本真
一『成功するための司会進行の実例とコツ』ナツメ社 2002)

例 15) 「それでは、惜しくも敗れました野呂下高校の主将の樺山くんの話をきいてみましょう」(清水義範
『ピンポン接待術』祥伝社 1999)

例 16) 介護保険での福祉用具貸与事業所をやっています者ですが、福祉用具貸与事業所をやっている方に
質問です (Yahoo! 知恵袋 2005)

(3) 形式名詞

形式名詞として使用された被修飾体言について見る。

① ことがら 139 件

ことがらに関わる被修飾体言は 139 件あった。コト 124 件、「点」5 件、「件」4 件、「次第」4 件、
コトガラ 2 件である。もっとも多いコトについて、ここでは取り上げる。

コトは、一般名詞と人物等を除けば用例数が一番多い。コトは、益岡・田窪 (1992) では内容節を
示すとされる。内容節とは、「被修飾名詞が指し示す対象の内容を表すもの」である。たとえば、例
17 のコトは、「不備，不行届の点が多々ございました」という事態を示す連体節が、例 18 では「私
の知っております」という事柄を示す連体節が、それぞれコトの内容を表している。

例 17) なにかと不備，不行届の点が多々ございましたことと思いますが、本席を借りまして、ここにお詫
びを申し上げる次第でございます (大下英治『修羅の群れ 怒濤篇』徳間書店 1984)

例 18) わたしの知っておりますことならなんでもお話ししましょう (アガサ・クリスティー・小尾美佐
(訳)『第三の女』早川書房 2004)

コトについては、連体修飾節がどれぐらいの割合で丁寧形になるのかも調査した (調査 B とする)。
調査方法は、BCCWJ を用いて、前文脈を「助動詞」、キー「コト」、後文脈 10 語以内に丁寧形が現
れることを条件に検索した。その他の条件は「3-1 調査方法」と同じである。この結果から、文法的
に連体修飾節で丁寧体をとらない助動詞 (ナイ、タイおよびその過去形、ヨウナなど)、ナ形容詞、口語
的・俗語的な助動詞 (ジャンなど) は除いた。

また、コトは文型上、連体修飾節で丁寧体をとらないものがある。

益岡・田窪 (1992) によれば、可能の意味を示す「コトガデキル」と、決定の意味を示す「コトニ
ナル・コトニスル」は動詞の基本形に、事態の反復を示す「コトガアル」は述語の基本形に、経験の
意味を示す「コトガアル」は述語のタ形にそれぞれ接続する。可能を表す「コトガデキル」以外にも、
「コトガ可能デス」も連体修飾節で丁寧形をとらない。

可能 私は {泳ぐことができ/*泳ぎますことができ} ます (作例)

ここは {泳ぐことが可能／*泳ぎますことが可能} です (作例)

反復 私はよく着物を {着ることがあり／*着ますことがあり} ます (作例)

経験 楓さんに {会ったことある／*会いましたことある} んですよ (山之内正文『青い繭の中でみる夢』
双葉社 2004)

私は蚊に {刺されたことがない／*刺されましたことがない} です (河合香織『週刊朝日』第 108
巻第 35 号 朝日新聞社 2003)

決定 明日 {試験をすることに／*試験をしますことに} {なりました／しました}

ただし、調査 A には、例 19 のように、「経験」の例が 1 件あった。これは、謙譲表現を伴っており、文体的に丁寧形を用いたのであろう。

例 19) 社員の方に社員になられた経緯をお聞きしましたことがあります (Yahoo! 知恵袋 2005)

以上のほか、調査 B で頻出する例のうち、次のような文型は丁寧形にはならない。忠告を暗示するコトダは動詞の基本形に接続する。伝聞と内容節を示すトイウ (口語ではッテ)・コト・トイッタコトのトイウはトイイマスにはならない。コトニナルは、「変化」を示す場合はなりにくい。

忠告 さっさと {行くこと／*行きますこと} です

伝聞 A さんによれば、明日は {晴れるということ／*晴れるといひますこと} です (作例)

内容節 わたしがあいつを {手放したくないってこと／*手放したくないといひますこと} を知っていな
がら、そう言うんですから…… (和久峻三『妻が敵にまわるとき』青樹社 1998)

変化 承認すれば {成立することに／?成立しますことに} なります

以上の文型を除いた結果、全体で 2438 件が得られた⁷。このうち、連体修飾節が丁寧形の文は 8 件だけであった。調査 A では、コトの連体修飾節の丁寧形が多い結果になったが、全体としては、被修飾節の丁寧形は少ないといえる。なぜ少ないのか。調査 B では、コト+格助詞ガの文型が 364 件あるが、そのうち連体修飾節が丁寧形の文は 0 件である。調査 A でもコトダは 4 件しか現れなかった。ガ格を伴うコトの使用に何らかの制限があることがその要因の一つではないかと考えられる。

② モノ 11 件

モノは、具体的事物を指す例が 11 件あり、例 20 のように、その事物を指す場合と、例 21 のようにその事物の性質・性状を表す場合があった。モノは、具体的事物を指す使用例よりも、後述の接続助詞的な使用例が多い。

例 20) 胃から検出されましたものは、多量の脂肪分、それに少量のタンパク質性の白身であります (笹沢左保『解剖結果』徳間書店 1986)

例 21) まあ、あの、電話と申しますものは利器のようできて、実にこの、牴牾しき道具でございますなあ (京極夏彦『百器徒然袋-雨』講談社 2005)

7 本来ならば、動詞による連体修飾節(「行くコト」等)も調査すべきだが、助動詞の例だけでも 2000 件を超えたため、ここでのデータ数としては満たしていると考え、助動詞だけを対象にした。

3-3-2. 接続助詞的な用法

被修飾体言が複文の従属節内にあり、接続助詞的に機能する例がある。

(1) 関係 127 件

前件と後件の関係を表すような接続助詞的な例が123件あった。理由92件（ユエ69件・タメ10件・セイ1件・ワケ1件・ヨシ7件・関係4）、結果25件（通り20件・ケッカ5件）、条件を示すイジョウ4件、結果の前提を示すウエ4、当然を示すハズ1件、意志を表すツモリ1件、その状況のままの意味⁸のママ1件であった。使用例の多い語について以下に例を示す。

例 22) 夫婦が二人三脚で寺を支えておりますゆえ、連れ合いのことを「坊守」と申します（五木寛之『蓮如 われ深き淵より』中央公論社 1995）

例 23) ひまわり畑のある地域が三か所に分散してますため、場所についてはご注意ください（Yahoo! ブログ 2008）

例 24) 教えていただきました通り、十月十日、ドッグレッグスの興行に行ってきました（Yahoo! 知恵袋 2005）

嶺田（2019）で示したが、丁寧形が理由を表す接続助詞カラに接続する割合は約37%で、因果関係を示す場合は、比較的丁寧形をとりやすいと考えられる。69件あったユエについて、コトと同様に調査Bを行った。その結果、38件のうち、25件（約66%）に被修飾体言に丁寧形が用いられていた。カラよりも文章語的で硬く、あらたまりの度合いが高いため頻度が高いのだと考えられる。

ヨシはやや古めかしい語であるが、7件とも現代を舞台としない小説⁹で、例25のような役割語的な使用例である。

例 25) 只今、金奉行・蔵奉行どもを呼び、賢く申し付けました由、今度は大博奕を打って貴殿にお目にかきましょうぞ（小澤富夫『武士行動の美学』玉川大学出版部 1994）

(2) 時間 202 件

時間を示す被修飾体言は、トキ42件、アト10件、「折り」10件、「場合」7件、ウチ5件、アイダ3件、サイ（際）3件、タビ（度）2件、「以前」1件、マエ1件、「最初」1件、サナカ1件、「矢先」1件、「最後」1件、「期日」1件、「今日」1件、「今年」1件、「頃」1件、「時分」1件、「当時」1件と種類が多い。

トキと「折り」は、例26・例27に示したように、ものごとの生じた時間を示す点で意味としては類似している。この2語についても調査B（ただしトキは事例が多いため、キーを書字形出現形「とき」とした）を行ったところ丁寧形が、「折り」は14/55件÷25%、トキは1/457件÷0.2%であった。あらたまり度が「折り」の方が高く丁寧形が用いられやすいといえよう。

例 26) 先日、筑豊にいきましたときに地元のかたからそのことを言われ（五木寛之『人生の目的』幻冬舎 1999）

例 27) お伺いしました折は、お客様の対応でお忙しそうでしたので、（金平敬之助監修『お詫び状ハンドブック』PHP 研究所 1999）

バアイは、森田（1998）によれば、ある事柄が生ずるに当たっての状況や事情を言うが、「仮定的な場合」は時の観念が伴う。ここで使われた例は、仮定的な場合のみであった。たとえば例28は、

8 使用例「ご無礼お許し下さいませ。思い感えますまま。かしこ」（千葉俊子はか『サワケン物語』サワケン 2001）

9 例にあげた『武士行動の美学』以外に、有吉佐和子『花岡青洲の妻』5件、同作者『和宮様御留』1件。

時間が許されることを仮定したもので、トキに交替できる。

例 28) 多少時間を要しますが、お時間の許されます {場合/とき} のみで結構ですので、ご回答願えれば幸いです (Yahoo! ブログ 2008)

以上の時間を表す被修飾体言のほか、トコロが 120 件¹⁰あった。森田 (1998) では、トコロについて、抽象的な部分や事態を示す用法 (例: 奴にはかわいいところがある) があり、部分の指示は、事態や成り行きの上で問題となる部分や結果などの指示へと広がる。さらに西欧語の関係代名詞的なトコロになった。このような用法のほかに、時を表す用法があることを述べている。

まず、問題となる部分や結果などの指示を示す例は 11 件あり、例 29 のようなものである。「理解した結果では」と置き換えできる。

例 29) 本会議における岡田委員の御質問は、私が理解いたしておりますところでは、銀行に対してどのような強化策を講ずべきかということに (国会政策研究会編『衆議院国会常任委員会議録平成 13 年度版』2001)

西欧語的な例は 3 件あり、例 30 のようなものである。

例 30) このエリアの中心地帯を三日月形に括った東垂半月弧と名付けられましたところの生活文化要素の特色と (宇多喜代子『俳句研究』第 72 巻第 13 号 角川書店 2005)

これ以外の 106 件は、時に関係する用法で用いられており、この用法のほうが多い。

森田 (1998) は、A の状況にあるときに B の状況が重なって起こることを示し、先行動詞の時制に応じて直後・最中・直前の意となる。さらに A 状態になりかけた、なるかもしれないの例を作ると述べている。A 状態になりかけた、なるかもしれないの例は現れなかった。

例 31 は A の状況にあることを示し、B の状況はあらわれていない。例 32 は A 「言った」状況のあとで B 「即答」状況になったことを示している。

例 31) ちょうど夕餉の支度をしてましたとこ。貴女もどうぞご一緒にね (木下勇作『如来が弁護してござる』文芸社 2002)

例 32) 「誰か要らなくなったテレビないか？」なんて言いました所、三男のギボンが、「あるよ。」と即答。(Yahoo! ブログ 2008)

修飾節の丁寧形の時制についてふれたい。時を示す 106 件のうち、105 件はマシタであった。トコロに先行する時制はタ形をとりやすい。表 1 は述語を基本形にした場合を示した。非丁寧体では被修飾体言となり得ても、丁寧体では制限される。一方、表 2 に示したタ形は、非丁寧体と同じように使うことができる。A 状態になりかけた、の例が現れなかったのは時制の制限によるものである。

マスは例 33 の 1 例だけであった。

例 33) ただいま隠し育てられた『沙婆世界』より故国に立ち戻り、達谷の里を目指しますところ。(篠田真由美『天と地の娘』角川書店 2003)

10 実質的な場所を示す例はなかったが、「昨日、行きましたところは、きれいな町でした」のように作例できるので、今回は出てこなかったものと考えられる。また、「かわいいところがある」のような部分を指す例もなかった。これも「特に良いとおもいましたところは、○○です」のように作例できる。

表1 述語の基本形

	非丁寧体	丁寧体
A しているところ (に B) (A と B がほぼ同時)	○テレビを見ているところに電話があった	* テレビを見ているところに電話がありました
A しようとしているところに B (直前)	○テレビを見ようとしているところに電話があった	* テレビを見ようとしていますところに電話がありました
A するところに B (到着点の二格)	* テレビを見るところに電話があった * 洗濯物を干すところに雨が降った	* テレビを見ますところに電話がありました * 洗濯物を干しますところに雨が降りました
A するところ B (これから事態が起こる)	* テレビを見るところ電話があった ○X を目指すところだ	* テレビを見ますところ電話がありました ? X を目指しますところだ
A するところだった ¹¹ (A 状態になりかけた)	○テレビを見るところだった	* テレビを見ますところでした

表2 タ形

	非丁寧体	丁寧体
A していたところに B	○テレビを見ていたところに電話があった	○テレビを見ていましたところに電話がありました
A しようとしていたところに B	○テレビを見ようとしていたところに電話があった	○テレビを見ようとしていましたところに電話がありました
A したところに B	* テレビを見たところに電話があった ○洗濯物を干したところに雨が降った	* テレビを見ましたところに電話がありました ○洗濯物を干しましたところに雨が降りました
A したところ B	* 本を読んだところ電話があった ○洗濯物を干したところ雨が降った	* 本を読みましたところ電話がかかりました ○洗濯物を干しましたところ雨が降りました

(3) モノ 44

接続助詞的な用法が 44 件あり、形式名詞としての用法よりも多い。接続助詞的な使用は、例 34 のように「+モノデ(ス)」の形で理由を示す例が 28 件、例 35 のように「+モノノ」の形で逆接を示す例が 16 件あった。

例 34) なにしる急でしたもので、このような場所しか用意できませんでした (中島渉『サザンクロス流れて』中央公論社 1987)

11 この用法の場合は、トコロの先行動詞の時制にタ形は現れない。「はねられるところでした」はなりかけたことを示すが、「はねられたところでした」はすでに A の状況になっていることを示す。

例 35) 私は、ギョッとしましたものの、何故か勇気づけられたのを覚えています（小河原正己『ヒロシマ
 はどう記録されたか NHK と中国新聞の原爆報道』日本放送出版協会 2003）

(4) その他

伝聞を示すソウ 6 件，限られた範囲を示すカギリ 3 件，場所を示すアタリ 1 件，比較を示すホウ 1 件，感じを示す感ジ 1 件であった。

伝聞を示すソウは，6 件とも助動詞であり，体言とは言いがたいが，その他に含めた。

例 36) 先日，お金を貸して欲しいと主人が頼まれましたそうです（Yahoo! 知恵袋 2005）

3-3-3. 一語として機能 19 件

例 37・38 のように「X マス・マシタ N」の形で 1 語をなす例が 19 件あった。17 件は Yahoo! の投稿記事で，新しい用法である。

例 37) 結婚しましたハガキと，普通の写真ならどちらを貰った方がうれしいでしょうか（Yahoo! 知恵袋 2005）

例 38) カラーコンタクトは，つけてます感が，あまりなかったように思います（Yahoo! 知恵袋 2005）

以上が被修飾体言の種類である。

3-4. 丁寧体の種類

被修飾体言の直前の丁寧体の種類についても特徴があった。表 3 は被修飾体言の直前の丁寧形の形とその使用実数をまとめたものである。

表 3 丁寧形+N

タ形	実数	基本形	実数	合計	
マシタ	651	マス	314	965	998
ゴザイマシタ	5	ゴザイマス	13	18	
		マスル	15	15	
デシタ	8	デス	3	11	

マシタとマスに接続する場合は 965 件でほとんどであり，特にマシタに接続する事例が 651 件が多い。「3-3-2 接続助詞的な用法 (2)」の「トコロ」で述べたように，被修飾体言節での丁寧形の時制には制限がある場合があるため，マシタが多いのだと思われる。

デシタとデスに接続する例も 11 件現れた。デシタ+体言 8 件の内，名詞は例 39・例 40 の 2 件だけで，そのほかは，接続助詞的な用法（理由を示すユエ 2 件・モノ 3 件，伝聞を示すソウ 1 件）であった。デス+体言 3 件のうち，2 件は理由を示すユエ，1 件は 1 語として機能する例であった。

例 39) 所属していたスキークラブ 東京都スキー連盟教育本部長でした方 その方から点数 足りなくとも合格させる準指導員検定受ける 他のスキークラブの方は落ちて（Yahoo! ブログ 2008）

例 40) といいますのは，わたしもメンバーの一人でした管内の専門農家の有志でつくる会でお話をうかが

う機会が何度もありましたし（野口好啓『家の光』第79巻第5号 家の光協会 2003）

明治期の丁寧体の種類でもデス体は現れてはいるが、一般名詞に接続する例はなく、例41のように文末詞的に使われるコトやモノに接続する場合だけであった。

例41) 美しい刺繍の縁のある parasol を買って来た。芳子は、それが羨ましかった。『まア、本とに、綺麗ですことね。』（仲木貞一「諷刺小説細君同志」『婦人倶楽部』1925）

デシタ・デスは、体言修飾の場合は用いにくく、つまり修飾体言節を作る場合は、動詞が主に使われると言えそうである。

4. まとめ

以上、連体修飾節でどのような語が被修飾体言になるかを中心に見てきた。全体の数を表4にまとめた。接続助詞に接続する場合は丁寧形が用いられることはあるため、ここでも接続助詞的な語に連体修飾節の丁寧形が多いと考えていたが、実際には全体としては名詞が多い。接続助詞には形容詞および形容詞的な活用の語もデスを介して接続する（例：きれいですが高いです）ため、その点が異なることも要因の一つであろう。本来、名詞、特に一般名詞は丁寧形で連体修飾することはないはずであるが、使用例が233件あった。敬語との共起関係もあるが、全体としては対者敬語が進んでいるといえるようである。

表4 被修飾体言の種類と延べ語数

名 詞	一般名詞		233		592
	人物等		209		
	形式名詞	ことがら	139	150	
もの		11			
接続助詞的	関係	理由	92	128	
		結果	25		
		その他	11		
	時間	時間	94	214	
		ところ	120		
	もの	もの	44		
その他		12			
1 語的			19	19	
合 計				1009	

本稿では述べなかったが、「あちらに見えますのが〇〇ビルです」のように、助詞ノが被修飾語に当たる場合や、話しことばでの実態と敬語意識については今後の課題とする。

【参考文献】

菊地康人（1997）『敬語』講談社学術文庫

益岡隆志・田窪行則（1992）「第IV部第1章 補足節」『基礎日本語文法 改訂版』くろしお出版

三尾 砂（1942）『話言葉の文法』帝国教育会出版部

嶺田明美（2019）「従属節内の丁寧体と非丁寧体—接続助詞に接続する文体について—」『学苑』939

森田良行（1998）『基礎日本語辞典』第8版 角川書店

【参考資料】

国立国語研究所「現代日本語書き言葉均衡コーパス」<https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>

国立国語研究所「日本語歴史コーパス」https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/chj/

（みねだ あけみ 日本語日本文学科）